

のこしたい **みらい** をともに つくる



全国12の自治体 と連携協定を結んでいます。

自治体業務における具体的なユースケースの創出と横展開を通じて、
全国の自治体における生成AI活用のさらなる加速に貢献するとともに
「のこしたいみらいをともにつくる」というミッションの実現を目指していきます。



2024

群馬県館林市
奈良県原田町
三重県紀北町

2025

大阪府阪南市
長野県中川村
愛知県日進市
埼玉県和光市

2026

宮城県大崎市
青森県野辺地町
北海道苫小牧市
兵庫県多可町
兵庫県尼崎市

*2026年7月1日時点

気になる！
現場の声

Polimill代表取締役COO 谷口野乃花×日進市 特別インタビュー

生成AIを、現場の相棒へ。

日進市とともにPolimillが歩んだ、生成AI活用のリアルな1年間を取材しました。

「導入して終わり」ではなく、現場に根づくまで伴走する。

— コモンズAI —
Qommons AI

自治体職員のみなさまからの愛のことば

ポリミル社員が「直接現地を訪問」し、「対面型研修プログラムを全国で」展開しています。
研修を受けた職員の皆様から届いたリアルな声をご紹介します。



初めての利用でも直感的に使い、
議事録や答弁案のたたき台が数分で
完成することに驚きました。日々の
業務時間が大幅に削減でき、心から
感謝しています。



以前はExcelの数式修正程度にしか使
っていませんでしたが、議会答弁や
想定質問の作成に活用できると知
り、業務の幅が劇的に広がりました。
手放せません。



LGWAN環境でこれほど高精度に動作
するとは思いませんでした。
ハルシネーションの少なさと出典付
きの回答に安心感があり、自信を持
って業務に使っています。



最初はログインに戸惑うほどでしたが、
触れるうちにAIが頼れる相棒に
なりました。今ではコモンズAIがない
と仕事が立ち行かないほど、欠か
せない存在です。



部局を超えて意見を交換しながらAI
を操作する研修は刺激的でした。AI
活用が『個人の作業』から『組織全
体の行政改革』へ変わっていく確信
を得られました。



挨拶文や議会答弁書のたたき台をAI
で作成し、それを自分の言葉に修正
する方法により、文章内容の充実や
作業時間の削減につながると感じま
した。



AIを活用するということのハードル
が今まで高く感じておりましたが、
研修では実践で使える具体的な
方法を説明して下さったため、今後
の利用イメージがつきやすくなりました。



様々なケースについて相談すると、
きちんと論拠を示して批判してくれ
るので、安心して情報の精度を高め
られます。会議で提示する前にこの
機能を活用して情報を精査しておく
と、会議の質が大幅に向上します。



私には無理だと諦めていたことも
Qommons AIのおかげで、「できない
こと」が、できるようになりました。
業務効率と業務の質を上げる効果
的なツールを無料で使わせていた
だき、感謝です。



「考える時間」を短縮し、「確認・判
断する時間」を増やしてくれる存
在。万能ではないけれど、自治体業
務の“相棒”としてちょうどいい距離
感なのありがたいです。



無償アカウントの範囲で非常に多岐
にわたる機能を利用できており、職
員からの反応も良いです。また常に
機能のアップデートを行っているた
め、どんどん使い勝手がよくなって
います。



ユーモアも交えつつ、とても丁寧に
分かりやすい研修でした。なかなか
手が出せなかったAIでしたが、研修
を通して非常に便利にすることがわ
かり、これから業務で活用していきた
いです。

導入サポート研修を全国で実施中！

Polimillは、「AIが初めて」の方でも「使える状態」まで伴走します。オンライン／対面のハイブリット研修を日本各地で実施中。部署や業務に合わせて内容を組み替え、実際の庁内文書を使った演習で一緒に手を動かしながら学びます。定着まで伴走し、研修後の相談やアップデート勉強会も随時ご案内します。導入して終わりではなく、成果が庁内標準になるまで支え続けます。



ポリミル
Polimill

株式会社
Polimill 株式会社
〒105-0001
東京都港区虎ノ門3丁目8-27 巴町アネックス2号館 3F

Mail : apply@polimill.com
TEL : 03-4400-4616
HP : polimill.jp / info.qommons.ai



愛知県 日進市



議会对応業務で96%の職員が「効率化」を実感、導入初期で2時間の作業時間短縮。 愛知県日進市×Polimillが歩んだ、生成AI活用の1年間

Polimill株式会社は2025年7月23日、愛知県日進市と生成AI活用に関する連携協定を締結しました。

それに先立ち、同年5月の第1回研修を皮切りに、計6回の研修、3回の相談会、各職員による個人単位のPoCまで、約1年にわたって伴走支援を実施。令和7年度の6月議会での試行では、QommonsAIを活用した職員の96%が「仕事の効率が向上した」と回答し、導入初期で1部署あたり最大2時間の作業時間短縮につながりました。生成AIを「入れて終わり」にせず、どうすれば全庁に根づかせることができるのか。日進市 総合政策部 企画政策課主査の田中佑樹さん、情報広報課主任主査の鈴木伸弥さん、Polimill代表取締役COOの谷口野乃花が、その1年を振り返ります。



総合政策部
企画政策課主査
田中佑樹さん

情報広報課
主任主査
鈴木伸弥さん

実務に耐えるAIを求めて

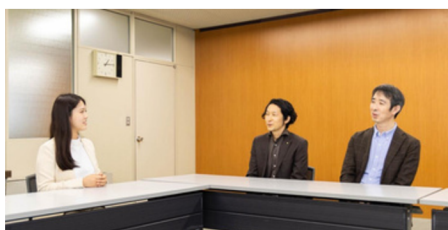
生成AIの導入を検討した背景は？

田中さん…市役所の業務には、繰り返し作業の多い事務や文書作成が多くあります。AIを使えば、単調な作業を減らし、職員がより判断や確認に時間を使えるのではないかと。そう考え、令和5年度から情報収集を始めました。令和6年度には複数の製品でトライアルを行いながら、少しずつ庁内での導入を試みました。

鈴木さん…先行自治体の取り組みを知り、セミナーにも参加しました。ただ、自治体ではクレジットカードが使えないなど、一般的なサービスをすぐ試すことが難しい場面もあります。そうした事情も踏まえながら、日進市で本当に使いやすいツールは何かを検討していきました。

実際に使ってみて、どんな課題が見えましたか？

田中さん…以前使っていたツールでは、質問文や回答文の文字数に制限があり、聞きたいことが途中で切れてしまふことがありました。文章作成では使える場面もありましたが、コード生成のように長い出力が必要な業務では、思うような回答が返ってこないこともありました。簡単な文章作成だけでなく、生成AIの活用範囲をもっと広げたい。そのためには、全庁で使える「実務に耐える正確性」が必要だと感じました。



インタビュー
全文はこちら
check!!

谷口代表が最初の打ち合わせで感じたことは？
谷口…最初に日進市のみなさんとお話したとき、生成AIを単なるツールとしてではなく、庁内の業務をどう良くしていくかという視点で捉えていらっしゃる点が、とても印象的でした。導入して終わりではなく、どのように使い、どのように広げ、職員のみなさんの業務にどうつなげていくのか。その道筋と一緒に考えられることに、心強さとかワクワク感がありました。
私たちにとっても、日進市のみなさんと同じ未来を見ながら、現場に本当に役立つ研修や支援をつくっていく大切な機会になりました。

QommonsAIの出会い

田中さん…愛知県内の他自治体の職員さんから「QommonsAIというのがあります」と教えていただいたのがきっかけです。

実際に試してみると、議会議事録が最初からセットアップされていて、こちらで準備する時間がほとんどかかりませんでした。

した。

前年度はAIの検証にも時間がかかり、精度面でも壁を感じていたので、すぐに使い始められる点は大きかったです。無償で試せること、研修を含めて伴走してもらえることも魅力でした。



職員の「手が止まっている」まで見えること。 リアルな場へのこだわり

鈴木さん：QommonsAI自体を無料で利用させていただいているにもかかわらず、谷口さんは毎回、当庁まで足を運んで丁寧に説明してくださいました。現場の肌感覚を大切にされているんだなと感じました。

谷口：初級編はオンラインでも完結できますが、応用段階では、対面でないと見えないことがあります。受講者の画面を隣で見て、「手が止まっているな」と気づく。

その人がどこで迷い、 何に不安を感じているのかー そうした小さなサインを拾えることが リアルの場の大きな価値だと思っています。

研修を重ねるたびに、職員のみなさんの熱意が増していくのも感じました。

隣の席同士でAIについて高度な会話をしている姿を見たとき、生成AIが少しずつ現場の言葉になっていることを実感しました。

現場の手応えを積み上げる

なぜ「生成AIラボ」を立ち上げたのですか？

田中さん…情報広報課だけで周知しても、全庁への浸透には限界がありました。そこで、生成AIに興味のある職員を横断的に集め、各部署で使い方を広げていく流れをつくりたいと考えました。近くで使っている人がいれば、「何をしているの?」と声がかかり、自然に広がっていく。個人のスキルアップを促しながら、成功体験を持つ職員を増やすことが狙いでした。

成果はいかがでしたか？

口コミで広がるうちに「自分も使いたい」という声が生まれたり、課長クラスの方が「どうやって使うの?」と聞いてきてくださったといった波及効果が出てきています。

利用した職員の96%が 仕事の効率化を実感。

数字に表れた成果は？

鈴木さん…令和7年6月議会から試行を開始し、議会対応担当職員8人にアカウントを配布しました。そのうち2人が準備業務に活用し、利用した職員の96%

最終的に答弁するのは人間。

議会答弁で忘れてはいけない原則は？

鈴木さん…生成AIはあくまで補助ツールです。最終的に答弁するのは人間であり、その原則を忘れてはいけません。

「職員が楽をして勝手に回答を作る」と受け取られれば、議会軽視と見られる可能性もあります。だからこそ

人が確認し、判断し、責任を持つ。

その前提を大切にしています。

Polimill株式会社 代表取締役COO 谷口野乃花

特に意識したのは、初級と中級の「あいだ」です。自席に戻って使ってみて、初めて壁に当たる人もいます。だからこそ、実際の活用例やつまづきにに合わせて、研修内容を細かく組み替えていきました。

生成AIは、使ってみて初めて可能性が見えてくる 人口減少時代の行政を支える「次の一步」を、「無料で試せる」QommonsAIから。

田中さん：生成AIは、実際に使ってみないと何ができるのかわからない部分が大きいと思います。費用対効果や利用目標を最初から立てづらい場合でも、まず一歩踏み出すことが大切だと感じています。無料で使えるQommonsAIを試してみると、業務のどこかで使えるという発見があるはずです。

鈴木さん：人口減少が進み、職員数を増やせない中で業務量は減らない。その状況を打開する手段として、AIをぜひ活用していただきたいです。パソコンやスマートフォンが普及したとき以上のインパクトが、AIにはあると感じています。

谷口：今の行政の仕事は、人手が必要な業務も、書類作成も、情報管理も、限られた職員のみなさんが担い続けています。

その負担を少しでも軽くし、住民サービスに向き合う時間を増やすために、AIができることはまだまだたくさんあります。

規模や財政状況にかかわらず、まず試せる環境を届けたい。それが、QommonsAIを無料で提供している理由です。



EST. 2021・TOKYO, JAPAN

社会の意思決定をアップデートするスタートアップ

のこしたいみらいを
とものつくる

未来を「指し示す」のではなく、
みんなで未来をつくる場を。

— 誰もが未来に参加できる社会へ。



設立
5周年!!

なぜ、ポリミルは生まれたのか。

「どうせ意見を言っても変わらない」「行政の現場に、未来を考える時間が足りない」
Polimillは、そんな社会のあきらめや構造的な課題に向き合うために、2021年に有志メンバーで立ち上げたスタートアップです。
SNS型意見プラットフォーム「Surfvote」で見えてきた社会の声と課題を、仕組みとして解決すべく、2024年10月には行政向け生成AI
「QommonsAI」をリリース。市民の声・専門家の知見・行政の現場・テクノロジーを信頼でつなぎ、社会の意思決定をとものつくる仕組みを提供
しています。

ポリミルが、大切にしていること。

声が届く社会をつくる

一人ひとりの意見が、社会を前に進める
材料になる。異なる立場の中に共通
の価値観を見つける場づくりを大切に
しています。

行政の現場に、時間を生み出す

AIを職員の判断と創造性を支える基盤
として実装し、本来向き合うべき政策
と住民サービスに集中できる環境を支
えます。

長く残る公共インフラをつくる

短期の利益ではなく、50年後・100年
後の社会に価値を残す仕組み。
次の世代に誇れる公共の基盤を今こ
から育てていきます。

思想を、プロダクトへ。「公共OS」を目指して。

「公共OS」とは、社会の意思決定を、みんなでつくるための基盤。Polimillは、テクノロジーと信頼で、のこしたいみらいをとものつくります。



Surfvote（サーフポート）

社会課題に、安心して参加できるSNS
投票・コメントでゆるやかな合意形成を目指す。
立場の異なる人たちの中にある共通する価値観を、
とものつくる場。



QommonsAI（コモンズエーアイ）

行政シェアNo.1 / 行政職員向け生成AI
全国1000自治体・50万人の職員に利用される、行政
専用の生成AI。文書作成・調査・住民対応など、
未来を考える時間を生み出す。



Polimill 株式会社

〒105-0001

東京都港区虎ノ門3丁目8-27 巴町アネックス2号館 3F

TEL：03-4400-4616 Mail：apply@polimill.com

HP：polimill.jp / info.qommons.ai

初期費用・構築費用なし | LGWAN環境でも追加料金ゼロ | AWS国内リージョンで国内処理を保証



行政AIシェア

No.1

※当社2026年4月調べ。他サービスとバンドルされていない単体プロダクトにおいて



— コモンズAI — Qommons AI

「探す」「調べる」「文書作成」を、たった **5秒** で。

導入自治体

1000

以上

2026年内に1,200自治体見込み

利用職員数

50万人

全国の自治体職員が活用中！

1000人まで

無料

LGWAN環境でも追加料金ゼロ！



Hi!

1000以上の自治体選ばれて 行政の「仕事の仕方」を変えていく。

QommonsAIは、自治体職員が日々使う生成AIツールにとどまらず、
行政業務そのものを支える「公共OS」として位置づけられています。

文書作成・要約・調査・情報ガバナンスまで

行政業務に必要な機能が一つのプラットフォームで揃います。



全国自治体の行政文書・議事録を横断検索。出典付きで根拠も明確。



議会対応から住民対応まで、7つの専門AIが自治体業務を幅広くサポート。



GPT-5.5 / Claude 4.8 / Gemini 3.1 Pro / PLMo 3.0 Prime を業務に合わせて選択。

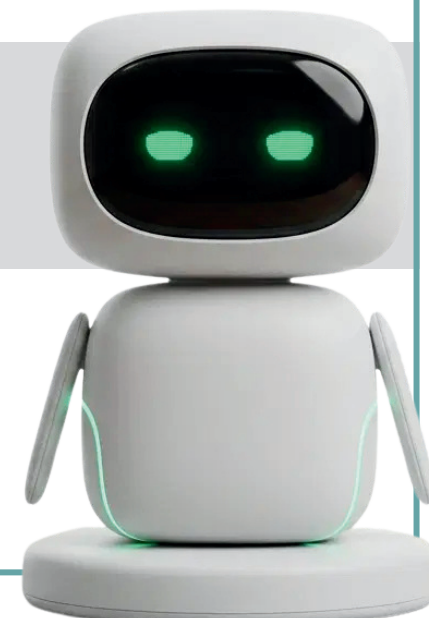


興味がある方必見！

展示会特別公演のお知らせ

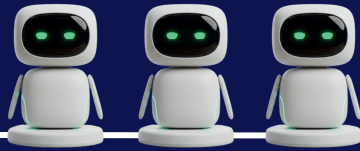
【圧倒的実績】全国1000自治体・50万人が使う生成AI

“選ばれ続ける”プロダクトの裏側



常識を塗り替える、全方位進化。

みなさまの声で、QommonsAIは日々アップデート！
たった1つのプラットフォームで、「探す」「調べる」「文書作成」を、5秒で解決します。



まだまだ続く。行政AIの進化は、止まらない。

現場の「できたらいいのに」を「できる」に変えるために。
QommonsAIを基盤に行政の未来を支える新サービスが続々と展開されます。



導入相談受付中！

コモンズエーアイ | 行政専用の生成AI

主要4社・14 AIモデルを統合。業務の複雑さに応じて、最適なAIを自由に選択

豊富な国内リージョン。同一会話内モデル切替可能

☑ Chat GPT (OpenAI)

GPT-5.5

GPT Image 2

GPT-5.4 (国内)

☑ Claude (Anthropic)

Claude Opus 4.8 (国内)

Claude Sonnet 4.6 (国内リージョン)

Claude Haiku 4.5 (国内リージョン)

☑ Gemini (Google)

Gemini 3.5 Flash

Gemini 2.5 Flash (国内)

Gemini 2.5 Pro (国内)

Gemini 3.1 Flash Lite

Gemini 3.1 Pro

NanoBanana Pro

NanoBanana 2

☑ PLaMo (Preferred Networks)

PLaMo 3.0 Prime (国産LLM) (国内)



実際の画面はこんな感じ！

Qommons AIでできること

文書作成・要約・調査・ガバナンス、行政業務のあらゆる業務が、これ1つで完結。



文書作成・要約・翻訳

報告書・議案答弁の下書きを瞬時に生成。住民向け文書もトーンを調整して作成可能。



行政ナレッジ横断検索

全中央省庁・全市区町村を約5秒で検索。議会議事録・条例・政策文書数千万件を網羅。



Deep Research (深層調査)

問いの分解→検索→精査→レポート生成を自動反復。複雑なテーマも出典付きで調査。



情報ガバナンス 3層防御

マイナンバー即ブロック・禁止ワード100語以上登録可・3段階ロール権限で組織制御。



効果測定ダッシュボード

利用状況・業務削減時間を可視化。導入効果を議会報告に使える定量エビデンスに。



画像生成AI (3モデル搭載)

4K画像・ポスター・SNS素材を職員が自分で生成。デザイン未経験でも庁内で完結。

Qommons Craft

サービス紹介動画 限定公開中！

2026.10 正式版リリース予定

コモンズクラフト | 会話型 AIアプリ生成サービス

複雑な画面設計や部品設計を学ばなくてOK。「会話するだけ」でアプリがつくれる！

作ったアプリは庁内でシェアして、みんなで使える！管理者による承認機能も整備。

- ☑ 庁内申請・承認の電子化
- ☑ 補助金・給付金の申請管理
- ☑ 工事・修繕の進捗管理
- ☑ 地域団体・協議会の名簿管理

- ☑ 問い合わせ対応の管理
- ☑ 施設・設備・備品の管理
- ☑ 住民・事業者向け申請受付と連携
- ☑ 教育・福祉・医療部門の小規模業務



2026.07末 β版公開予定

コモンズワン | 行政専用 AIアプリストア

QommonsAIの上に、必要なAIアプリを追加できる行政版アプリストア

自治体業務に特化したアプリをすぐ業務に組み込めます。ゼロから個別開発する必要はありません。

- ・補助金対応AI、偽情報対応AI、水位上昇検知AI、豪雨・災害予測AIなど、様々なアプリ群が想定されています。
- ・複数のアプリを同じ画面の中で使用可能。アプリを切り替える手間がなく、作業効率上がり、管理コストも下がります。



各専門AIとシームレス連携
価値を創出する



防災・避難所最適化



政策立案(EBPM)



地域交通



福祉・見守り



観光・産業振興

【パートナー企業募集中】 全国1000自治体・50万人へ、貴社のサービスを「アプリ」として届けます。 最短3ヶ月でリリース!!



を基盤とする
サービス・エコシステム

開発・公開準備中!!

2026年度 リリースロードマップ

QommonsAIは、自治体職員が日々使う生成AIツールにとどまらず、行政業務そのものを支える基盤OSとして位置づけられています。その上に、複数の新サービスが展開される構想です。



QUSTOS

クストス | 偽情報対策ポータル

自治体が偽情報・誤情報への対応を住民に公開し、通報受付も行う「情報空間の免疫システム」。災害時のデマ対策を支える。



QLEAR

クリア | AI透明性レジスター

どのAIをどの業務でどう使っているかを住民に公開。EU AI Actの考え方を参考に、住民との信頼形成を支援。



Quester

クエスター | 人材育成基盤

ゲーミフィケーション型人材育成基盤。日記・チャット記録からAIがスキルを自動抽出。成長を可視化し、「書くたびに自分が育つ」設計。



Qommons Connect

コモンズコネクト | 官民マッチング

自治体の課題と民間ソリューションをAIがマッチング。届けるだけの「広告」ではなく「具体的な困りごとに合わせた提案」の場。



Qommons Link

コモンズリンク | 行政版SNS

自治体・職員同士をつなぐ専門ネットワーク。同じ悩みを持った自治体職員が語り合える場、知見をつなぐ基盤。



Qommons Journal

コモンズジャーナル | 行政専門note

他自治体の知恵に出会う基盤、自治体版note。ふと読めて、前向きになれる、行政職員の情報インフラ。

自治体職員の【現場を支える生成AI】から【行政の基盤OS】へ。新サービスをぞくぞく展開予定です。ともに未来の行政をつくろう!!